

## 2月9日：不動産、鉄鋼セクターが買われ、VN指数は4日続伸

不動産、鉄鋼セクターが大きく買われ、VN指数は続伸した。

VN指数は0.29%高の1,505.38ポイントで取引を終えた。

同指数は前日0.22%高の1,500.99ポイントで引けていた。

騰落別では291銘柄が上昇、161銘柄が下落、45銘柄は変わらずだった。

売買高は約7億9,470万株、売買代金は25兆2,000億ドン（11億米ドル）となった。

業種別では鉄鋼セクターに投資家の買いが集中し、大きく上昇した。その中でもホアファットグループ（HPG）は3.8%上昇し、VN指数をおよそ2ポイント押し上げた。

旧正月前と比べてホアファットグループの株価は12%上昇した。同社の上場株数は44億7,000万株であるが、今回株価が12%上昇したことで同社の時価総額は22兆8,000億ドン増加した。

またホアセングループ（HSG）、ナムキム鉄鋼（NKG）、ポミナ鉄鋼は全てストップ高を付けた。

不動産セクターの銘柄もストップ高をつけ、指数を押し上げた。ストップ高した銘柄には第14リコジ建設（L14）、CEOグループ（CEO）、DIC不動産（DIG）、ドリームハウス投資（DRH）、フェコン（FCN）が含まれた。

その一方で、銀行株は大引けにかけて売りが強まり、軟調な値動きとなった。主な値下がり銘柄にはオリエントコマーシャル銀行（OCB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）、ヴィエティンバンク（CTG）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、サコムバンク（STB）、ベトコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、エクシムバンク（EIB）が含まれた。

セクター別では全25業種のうち、卸売、保険、証券、IT、小売、ヘルスケア、農業、ゴム製品、食品飲料、水産加工、建設資材、物流を含む19業種が上昇した。

VN30 指数は 0.13% 高の 1,552.44 ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、16 銘柄が上昇、14 銘柄が下落した。

一方でハノイ市場の HNX 指数は 1.51% 高の 424.19 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.22% 高の 417.89 ポイントで引けていた。

売買高は約 6,500 万株、売買代金は 1 兆 9,000 億ドンとなった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。